



学校だより

横浜市立六つ川台小学校

8・9月号

令和4年8月29日

URL:<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawadai/>

E-mail: ky-e-mutudai@city.yokohama.jp

1万時間の法則

校長 本間 明

各地の気温の更新と、新型コロナウイルス感染者数の更新のニュースが続きましたが、それぞれのご家庭でいろいろな経験をし、充実した夏休みを送ったことと思います。

今年は3年ぶりに行動制限の無い夏でしたので、これまで会うことができなかった遠方の親戚に会いに行ったり、旅行を楽しんだりしたご家庭もあったことでしょう。

さて、「1万時間の法則」というのをご存じですか？

人は、あることを1万時間続ければ、そのことで一流になれる——というものです。

あることを1日3時間やったとして、1年だと3時間×365日で、1095時間。

1年で大体1000時間ですから、1万時間になるためには10年。

1つのことについて10年努力すれば、一流になれるということです。

1万時間については、「たくさん練習する」の意味であり、必ずしも1万時間でなくとも良い、効率的に練習すればもっと短い時間でも一流になれるし、もっと長い時間が必要な場合もあるという考え方もありますが、ここではキリよく1万時間ということで続けます。

野球のバッティング練習でも、楽器の演奏でも、絵を描くのも、3時間を10年続ければ一流になれる。

これ、小学生の皆さんだったら、今からチャレンジ可能ですよね。

将来の目標を決め、それに向かって毎日3時間。

10年後には一流になっていることでしょう。

ただ、現実には、やり続けられる人は少ないです。

たとえば、3年前の2019年に引退したプロ野球のイチロー選手は、3歳から野球を始めました。

皆さんと同じ小学生の頃は、1年365日の内360日はバッティングセンターに通っていたそうです。なかなかできることではありません。

もう、すでに小学生までで練習量が1万時間を超えていそうですね！

プロになってからは、日本でもアメリカでも輝かしい成績を残しました。

イチロー選手の場合は、小学生時代の卒業文集の内容も公開されており、有名な事例ですのでここに挙げましたが、一流と言われる人の多くはたくさんの練習をしています。

今、小学生の皆さんが最も興味を持つ仕事としてユーチューバーがありますが、ユーチューバーの人達も、毎日何時間も費やして動画を作り、投稿しているのです。

六つ川台小の皆さんも、何か目標を決めて、取り組んでいってみたいはいかがでしょうか。